



特集

交通安全を支える交通指導隊

子どもや高齢者など、地域の人々を事故から守る交通指導隊。本記事では、指導員の日々の活動や思いを紹介します。

問い合わせ 地域づくり課 ☎72-8301

子

子どもたちの登下校時に、交差点などで見かける紺色の制服。交通指導隊は、市民を交通事故から守るため、さまざまな啓発活動を行っています。

多彩な経歴の指導員が活躍

交通指導隊は現在、30代〜80代の計46人の指導員で構成。彼らは警察官や市の職員ではなく、市長から委嘱を受けた有償ボランティアとして活動しています。自動車学校の元教官、元トラック運転手、主婦など、その経歴は多種多様です。



事故が多い登下校時間帯

全国的に小学生の交通事故が多く起きているのは、登下校の時間帯。特に下校時から夕方にかけて事故が多発しています。

交通指導隊は地域ごとに9班に分かれ、登下校時に立哨指導を行っています。大きな道路に面する交差点など、危険性が高い箇所立ち、日々子どもたちの安全を守っているのです。

交通指導隊の主な活動

立哨指導

交差点などに立って、子どもたちが安全に登下校できるように交通指導を行います。



交通安全教室

保育園・幼稚園や小学校のほか、地域の会合などに出向き、道路の歩き方、自転車の乗り方など、交通安全に関する講習を行います。



各種行事における交通整理

大規模イベントや地域行事などの開催時に、歩行者の安全を守るために交通整理を行います。

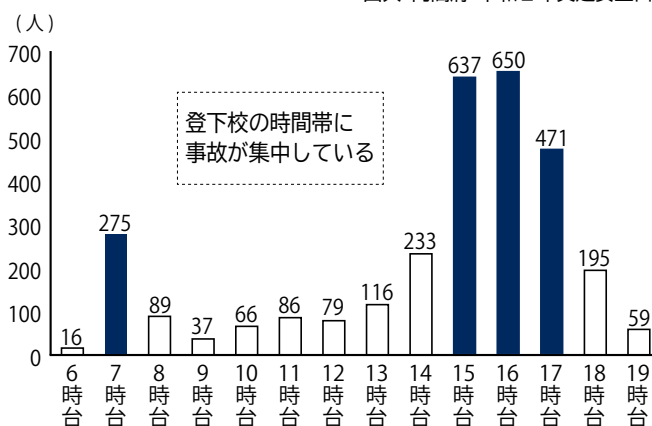


広報活動

交通指導車を使用した放送や、チラシ配布などを通じて、交通ルールの遵守を呼び掛けます。



■全国における小学生歩行中の時間帯別死者・重傷者数(平成27年～令和元年合計)
出典:内閣府 令和2年交通安全白書



Interview

交通指導隊の南部班に所属し、鬼柳小学校エリアで各種活動を行う2人の指導員。日頃の活動内容や、その思いを伺いました。



指導員になつたきっかけは？

指導員を長年務めていた地域の人から声を掛けてもらいました。私自身が交通指導隊を知らなくて、以前は警察の人かと思っていましたよ(笑)。

交通指導隊の雰囲気は？

所属する南部班の雰囲気がすごくいいんです。何でもすぐに教えてくれたり、人間関係がいいので楽しみながら活動できています。

活動を通じての楽しみは？

最初は指導員の制服を着ることが恥ずかしくて、顔を隠したりしてしま

指導員になつたきっかけは？

人数が不足しているということで、地区の役員から声を掛けられました。元々、車の整備の仕事をしていたので、交通安全に関心があり、引き受けてみようと思いました。

やりがいを感じる瞬間は？

当初は何も分からず、班長の指示に従うだけ(笑)。でも今は子どもたちの成長を見守ることがやりがいです。あんなに小さかった1年生が上級生となり、たくましくなったなあと。小学生から感謝状をもらったときは、やっていて良かったと、つくづく感じました。

た(笑)。でも今では、制服を見た子どもたちが交通ルールを守ってくれます。

信号が点滅したら必ず止まるようになったし、声掛けに反応してくれるのがうれしいです。地域との関わりや交流も生まれるので、自分も元気をもらっています。

皆さんにお願いしたいことは？

指導員を見つけたら、あいさつでも何の話でもいいので気軽に声を掛けてくれるとうれしいです。また、家庭でも交通安全に関する話題にしてほしいと思っています。

立哨指導以外の活動は？

幼稚園・保育園、小学校で開催する交通安全教室や、地域のイベントの際に交通安全整理を行います。地区の夏祭りでは、道路を通るみこしの前後を歩き、通りかかる車へ合図を送ります。

皆さんにお願いしたいことは？

保護者の皆さんにお願いしたいのは、県道を挟んだかたちで子どもを出迎えないこと。親御さんの姿を見つけて、道路に飛び出す危険があります。必ず子どもと同じ側に立って出迎えてください。



地域の皆さんとの交流から元気をもらっています。

子どもたちの成長を見守ることがやりがいです。

北上市交通指導隊 南部班
高橋 達夫さん(指導員5年目)

北上市交通指導隊 南部班
富浦 富美子さん(指導員6年目)

Message

日々、私たちが住む地域の安全を守る北上警察署から、市内の交通事故の状況や、運転時の注意点をお伝えします。



北上警察署
菊池 朗好 交通課長

警察署は交通指導隊と連携し、ライト早め点灯の呼び掛け、小学校での交通ルール指導、飲酒運転撲滅に向けたチラシ配布など、さまざまな啓発活動を行っています。交通指導隊の皆さんのおかげで、市民の交通安全への意識が高まっていると感じています。その結果、北上市内での交通人身事故は、近年減少傾向にあります。それでも昨年は、夕方の時間帯に高齢者が

犠牲となる死亡事故が発生しました。今年は死亡事故ゼロを目指し、さらに交通指導隊とのタッグを強めて、反射材の貼付活動などに力を入れていきます。これから春を迎え、新入生たちが道路を歩くようになります。絶対に子どもたちが事故に巻き込まれることがないように、横断歩道に歩行者がいた場合、車は必ず一時停止するようお願いします。

■市内の交通人身事故発生件数の推移

	発生件数	死者数
令和3年	130件	3人
令和2年	162件	4人
令和元年	228件	6人

春の全国交通安全運動

4月6日(水)～15日(金)

4月10日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」

スローガン **通学路 速度を落とす 思いやり**

運動の重点

- 子どもをはじめとする歩行者の安全確保
- 歩行者保護や飲酒運転根絶などの安全運転意識の向上
- 自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

交通指導隊に関心のある人 地域づくり課へ連絡を！

皆さんも地域の交通安全を支える活動に参加しませんか？健康で交通安全に関する熱意がある人など、まずはご連絡ください。

■問い合わせ…地域づくり課 ☎72-8301

交通安全は一人一人の心掛け
それぞれの思いを胸に、日々活動する交通指導隊。地域の皆さんに正しい交通ルールを伝えることで、まちの交通安全を支えています。
しかし、その活動だけでは、交通事故はなくなりません。飲酒運転や「ながら」運転をしないことはもちろん、ライトの早め点灯、横断歩道での一時停止、安全な道路横断など、私たちが交通ルールを自分事として理解し、守ることが必要です。
ドライバーと歩行者が「事故を起こさない」「事故に遭わない」安全・安心なまちの実現に向けて、一人一人が心掛けることを、家庭や学校、企業などで改めて考えてみましょう。